

液体紙容器から段ボールへリサイクルシステム構築 紙資源の循環型経済の実現に向け始動 王子ホールディングスと日本テトラパックの共同取り組み

王子ホールディングス株式会社(代表取締役社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)は、ポリエチレンでラミネート加工されたチルド向け紙容器および紙コップから段ボールへリサイクルするシステムを構築しています。このたび、日本テトラパック株式会社(代表取締役社長:アレハンドロ・カバル、本社:東京都港区、以下、テトラパック)と共同で、課題であったアルミ付き紙容器を回収し、段ボールへ再生する国内初のリサイクルシステムを構築し、循環型経済(サーキュラーエコノミー)の実現に向けた取り組みを本格的に開始したことをお知らせします。

現在、日本国内におけるアルミ付き紙容器のほとんどは可燃ごみとして焼却処分(サーマルリサイクル)され、紙製品への再利用(マテリアルリサイクル)の割合は3.4%^(※1)と非常に低い水準に止まっており、各所に課題が残っています。今回、使用後のアルミ付き紙容器を紙繊維、ポリエチレン・アルミ層へ分離することで、紙繊維部分を段ボールとしてマテリアルリサイクルするシステムを国内で初めて確立しました。

既に2023年7月から一部エリアにて実証試験を行っており、今後は順次エリアを拡大し、全国規模でのシステム構築に向けて取り組みを本格化させて参ります。

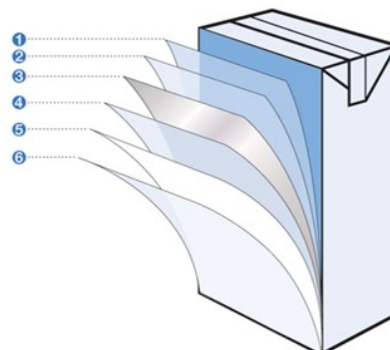
※1)アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査報告書〔2021年度実態〕
(印刷工業会液体カートン部会/株ダイナックス都市環境研究所)



【テトラパックのアルミ付き紙容器構造】

基本仕様

- ① ポリエチレン・・・容器成型時のシール
- ② ポリエチレン・・・アルミ箔とポリエチレンの接着
- ③ アルミ箔・・・光&酸素の侵入防止と中身製品の保護
- ④ ポリエチレン・・・紙とアルミ箔の接着
- ⑤ 紙・・・印刷と容器強度
- ⑥ ポリエチレン・・・水分の遮断



【リサイクルシステムについて】

新たに構築したリサイクルシステムは、店頭や自治体などから回収するアルミ付き紙容器や製函工場から排出される損紙を回収し、王子グループの工場で段ボール原紙へとマテリアルリサイクルします。再生した段ボールは、今後紙容器回収ボックスとして使用されるほか、食品・飲料業界でご使用いただくことも目指していきます。これにより、サーキュラーエコノミーの実現と食品・飲料会社の工場におけるゼロエミッションを支援します。

【本取り組みの背景】

当社グループはネット・ゼロ・カーボンの中核とする「環境ビジョン2050」と、そのマイルストーンとして制定した「環境行動目標2030」の下、古紙利用率70%以上を目指しています。これまで古紙利用率が低かったチルド向け紙容器およびアルミ付き紙容器のリサイクルシステムの構築を進め、古紙の利用促進に取り組んでいます。

また、テトラパックも2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガスネットゼロを目標に設定しています。全ての使用済み紙容器が捨てられず、確実にリサイクルされることを目指し、世界各地で紙容器の回収・リサイクルに積極的に取り組んでいます。段ボールへのリサイクルにより、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。

【本取り組みの狙い】

「王子グループは、経営理念の一つである「環境・社会との共生」に基づき、環境問題への取り組みを積極的に行っています。その一環として、液体紙容器を含む、様々な紙容器をリサイクルできるようなシステム構築を進めています。このたび、アルミ付き紙容器を含めた古紙リサイクルのさらなる拡大をテトラパックと共同で目指します。本取り組みを通じて、サステナブルな社会の実現を推進します。」

(王子マネジメントオフィス グループ事業開発本部 山本学副本部長)

「テトラパックは、紙容器のリサイクルを通して、温室効果ガスの削減を目指しています。アルミ付き紙容器は、海外においては段ボールにリサイクルされる実績がありますが、国内では初の試みです。新たな最終製品が増えることで、アルミ付き紙容器のリサイクルへのアクセスが広がることを期待しています。また、その段ボールを食品・飲料業界で使用することで、より一層の低炭素・循環型社会の実現が可能になります。店頭回収および行政回収、工場損紙の回収を通して、更に回収・リサイクルを促進してまいります。」

(日本テトラパック サステナビリティ部 大森悠子ディレクター)



テトラパックは、食品加工処理と紙容器充填包装システムの世界的なリーディング・カンパニーです。世界160カ国以上のお客様のニーズを満たすため、安全かつ革新的で、環境に配慮した製品を提供しています。世界に約25,000名の従業員を擁し、業界での責任あるリーダーシップを果たすべく、持続的な事業経営に努めています。「大切なものを包んでいます(PROTECTS WHAT'S GOOD)™」というモットーは、「私たちは、いつでもどこでも安全な食品を入手できることを約束します」というテトラパックのビジョンを反映しています。更に詳しい情報につきましては、下記をご覧ください。

ウェブサイト www.tetrapak.com/ja-jp

※本プレスリリースにおいて、全部・一部を問わず、画像の無断転載を禁じます

本件に関する問い合わせ先

王子マネジメントオフィス株式会社

グループ事業開発本部 副本部長 山本学

TEL:03-3563-4430 E-mail:omo-paperrecycle@oji-gr.com

王子ホールディングス株式会社

コーポレートガバナンス本部 広報IR部

TEL:03-3563-4523 E-mail:oji-holdings@oji-gr.com